メバル公園活力倍増プロジェクト 第1回 青果市場の移転に向けた懇話会 議事録等

■開催日時・場所

令和7年4月23日（水） 午後1時30分から午後4時まで
防府市公設青果物地方卸売市場2階会議室

■次第

- 1 開会
- 2 協議事項
青果市場の移転整備について
（現地視察【防府市公設青果物地方卸売市場、道の駅 潮彩市場防府】）
- 3 その他

■資料等

- ・青果市場の移転に向けた懇話会設置要綱
- ・委員名簿
- ・資料1：スケジュール案
- ・資料2①：メバル公園活力倍増プロジェクトについて
- ・資料2②：「潮彩市場防府」エリアの活性化について
- ・資料3：施設概要

■出席者名簿（敬称略・令和7年4月23日時点）

【区分】	【所属団体名】	【氏名】
会長	防府市産業振興部	本間 良寛
委員	山口県農林水産部ぶちうまやまぐち推進課	竹本 浩二
〃	山口県漁業協同組合吉佐統括支店	中島 均
〃	山口県農業協同組合防府とくぢ統括本部	長田 健
〃	防府青果買受人組合	岩川 博
〃	防府市蔬菜出荷組合	荒瀬 正則
〃	防府商工会議所	中司 正樹
〃	防府消費生活研究会	阿部 幹恵

■傍聴人：0人

■会議録

1 開会

2 協議事項

会議の公開について

- ・ 本日の会議は公開とする。
⇒異議なし。
- ・ 第2回目以降の会議についても、原則公開とするが、その都度会議に諮って決定する。
⇒異議なし。

会議の記録について

- ・ 会議で出された意見等の概要は、会議終了後、事務局で整理したものを各委員に確認後に、会議の要旨を市ホームページで公表する。
⇒異議なし。

青果市場の移転整備について

- ・ 議事内容について事務局より資料を用いて説明。
- ・ 資料説明後に現地視察（約1時間）を実施。

資料内容についての質疑応答

【A 委員】

- ・ 確認だが、取引は相対が多いのか。

【事務局】

- ・ 今は相対取引が多い。

【A 委員】

- ・ （資料の現卸売市場の面積は）3000㎡になっていたが、今見た（潮彩市場防府）ところは900㎡。実際にこの3000㎡が今の4分の1になったときに、どのぐらいの使用率、3000㎡の何%ぐらいか。大体で感覚的で構わないのだが。

【事務局】

- ・ 時期的なものもあり、今の時期は荷が少なく、やはり夏から秋にかけて増えていく傾向である。今の卸売業者とも話をする中で、やはり冷蔵庫もどのぐらい必要かという問題もある。今が少ないからそれで良いかということそうではないという話である。

【B委員】

- ・ 今の質問と少し似ているが、先ほどの3000㎡でどのぐらいの物が入っているのか。

【事務局】

- ・ 物によってはある程度間隔を空けて使っているが、取扱量を考えると3分の1で十分であると思われる。

【C委員】

- ・ 市場の青コンテナだが、40年以上前に、全国でもトップクラスで野菜をコンテナ出荷という形に切り換えている。以前は魚市場のト口箱のようなものを使って野菜を出荷するという形だったが、5段でも重ねられるので場所を取らなくなった。今日見に行った（潮彩）市場は、保管する倉庫、コンテナを置く場所が作りにくいと感じた。
- ・ 最近市場の方では（出荷時は）段ボールに切り替わるという形だが、生産者からいえば段ボールは昔と違って高価になっている。防府に一般の方の集荷を増やそうと思えば、コンテナを使ってコストを下げる方向だけは何とか保ってほしい。

【D委員】

- ・ まず確認しておきたいのが、この懇話会で技術的な話はどうなるのかということ。例えば基本構想を作るまでに建築関係とか土木関係の方のアドバイスは、受ける予定なのか。

【事務局】

- ・ 基本構想を作る段階で、どのようなものが現実的にできるかということを市の建築課と相談する。

【D委員】

- ・ 技術的な面が我々では分からないので、ぜひ参考にさせていただきたい。関連して先ほど（現地で）も言ったが、魚市場跡地は水産市場と一体構造になっていて、分離したときにどうい影響があるのか、その辺についても十分精査していただけたらと思う。
- ・ それから、今日ちょっと現場を見て、今話があったコンテナの倉庫などはあえて魚市場跡地で整備する必要はないと、どこか近くにそういう建物を作る方法もあるのかなと感じた。ご案内のとおり魚市場跡地はかなり狭いと感じるので、そういうことも含めて検討していただきたいと思う。

【E委員】

- ・ スケジュール等を見たが、実際に開場するのは、いつごろを考えているのか。例えばこういう会合を重ねて、青写真ができて、実際に向こうで開場する時期は。

【事務局】

- ・ スムーズにいけば、まず今年度が基本構想、令和8年には設計、令和9年に整備を始め、令和10年ぐらいに建物が完成し、それから開場という予定である。現在、第6次の総合計画を作っているのので、そちらでスケジュールを載せる形になってくると考えている。

青果市場の移転整備について（自由意見）

【会長】

- ・ 魚市場跡地を青果市場として整備し、さらなる活性化を図りたいということで、市の当初予算でもメバル公園の活力増進プロジェクトとして、今年度は青果市場の移転に向けた基本構想を策定することとしている。
- ・ 本日は1回目の会議でもあるので、委員の皆様が普段感じられておられること、先ほども意見をいただいたが、整備した場合にはどのようなことが今後考えられるかなど、その他諸々意見があると思うので自由にお話いただきたい。

【F委員】

- ・ 職場の子育て世代の職員に、メバル公園にベビーカーを押すような客がなぜ多いのかと聞くと、休日はメバル公園の近隣商業施設に立ち寄り、その後、公園で遊ぶということがよくあるとのことである。その人の流れが、市場に取り込めたら良いと感じている。

【G委員】

- ・ 直売所に出荷される方もかなり増えてはいるが、面積の大小というのは今後の課題として市場は必ず必要である。
- ・ 玉ねぎなどは生産面積も拡大している。ほぼ段ボールによる共販出荷だが、農業法人等も含めてここの市場に出荷されている。耕作放棄地を減少させるために新規就農者を募集していて、そういった方々の販路拡大ということもあり、移転等になっても生産者の方が利用しやすい市場を作っていただければと思う。
- ・ 規模感等については山口の青果市場等を参考にすると、現市場の面積はやはり広い。先ほど移転先を見て、面積的には問題ないと思うが、今後荷が増えたときに対応ができるのかということも今後の検討材料と思う。今後、効率的な運用ができるよう、適切な規模で考えていただければ良いと思う。

【A委員】

- ・ 先ほどの質問の続きというか、個人の考えだと、先ほどC委員が言われたように、今の施設では付属の施設が少ないとも思う。大胆な発想なら、北側の駐車場も使うような形で、一部は駐車場を縮小しても構わないと感じている。規模は小さくなるのだろうが、今ある機能をそのまま持っていけるように考えていただけたらと思う。

- ・ 購入される方は、青果も水産も利便性が高まるのではないかと思います。
- ・ 魚市場跡地は一面でしかトラックの受け渡しができない感じなので、両面にトラックがつけられると良いし、現在はそのままトラックが入っていけるが、魚市場跡地は一段高くなっているので、D委員が言われたような構造的な話も含めて検討されると良いと思う。
- ・ 今の卸売業者の考え方というか、卸売業者は今後どのようなようになるのか教えてほしい。

【事務局】

- ・ 防府市公設青果物地方卸売市場業務条例上、現事業者が新たな市場環境で卸売業務を行う意思があるのであれば、欠格事項等に該当しない限り、市としては許可する運びになると考えられる。

【B委員】

- ・ 意見はお金のことは全く除外で考えていただきたいが、先ほど魚市場跡地と水産市場の話で屋根がつながっている話があったが、水産市場のところも全部修繕するということになるのだろうか。
- ・ 今の青果市場にはPRルームという部屋があり、青果を使って農家さんたちが調理し、市広報とかに（レシピを）載せたりとかしている。市民にもPRをしていて、そういう部屋が絶対あってほしい。それで（新たな市場を）1階建にするのであれば、その場所が取れる広さがないと思うし、ただ2階建にするとお金はかかる。でも、2階建にできるのであれば隣の潮彩市場とつなげると便利になると思う。3階建にするのはコストがかかるので、整備する部分と潮彩市場とをつなげられたら2階建で済む。極端な話、スロープとかエレベーターとかは潮彩市場の方についているので、そのまま2階が使えるのではないかなと思う。
- ・ 私達一般市民からすれば、市場がどこに行こうがあまり興味がないと感じると思うが、そこで新鮮なものが買える、新しいものが食べられるということであれば、消費者もすごく興味を持ってくれると思う。（東京の）豊洲とかはそのようになっていて、それなら消費者も興味があって、そこでお金を落としてくれるのではないかなと思う。

【C委員】

- ・ 昔は市場のセリとか農協共販で他県との価格、そういったものと競争するという形で生産部会自体が取り組んで頑張ってきた。しかし、ここ最近は、やはり直売所とか、流通の流れが変わってきている。今は買い手市場で買う方が値をつける、だから、直売所も含めて市場の中に作るのであれば、売り手市場、私のものはこれ以上でないと売らないよという、そういうコーナーも作っていくことで産地のブランド品まで市場に引き入れる。どこの市場でも直売所の影響で取扱量が減っているが、現状では市場はますます小さくなるのが目に見えている。そういう中で、新しい市場で活性化に取り組もうと思ったら、何かよそと違う取り組みが必要である。

- ・ 農家で経営ができる人を育てないといけない。ここ最近は農薬が少ない、無農薬とかそういう方が新規就農者には特に多い。全国的にもそういう方がすごく増えてきているのが現状である。しかし、今後は農業人口が減って、生産量が完全に足りなくなる時代が来ると言うから、やはり農薬も使いながら、そういう農家も育てる形にしないと、日本の自給率は下がることが目に見えていると思う。
- ・ 6月1日から熱中症対応が義務化、法人には特に制限がでてくる。市場へ出荷した方がクーラーの効いた部屋で体を冷やす休憩室というの、小さくてもあった方が良いと思う。
- ・ 以前、高知県に赤岡青果株式会社という地方卸売市場があって、生産者も買受人も守るといふ形の経営をされていて、講師として話してもらったところ反響があった。そういう他の市場の事例も参考にすると良いかなと思う。

【E 委員】

- ・ 現在の駐車場は魚市場跡地の北側にあるが、(青果市場を整備すれば)一般の消費者と業者とが混同してくると思う。お客の車と事業者の大型車で事故とかが発生すると良くないと思うので、例えば一方通行にするとか、そういったことも必要なのかなと思った。
- ・ 先ほど現地に行ってみたが、県港湾の緑地の方に駐車場がある。この駐車場から潮彩市場に行くには、一旦敷地外に出て再び敷地内に入らないといけない。駐車場から緑地帯を通過して、潮彩市場の方に行ける道があれば、スムーズになるのかなと思う。

【D 委員】

- ・ 魚市場跡地の上に、社会見学等で使える研修室、災害のときにも使える、また、水産市場や青果市場の方で会議をやるときにも使えるような、そういうスペースがあると効果的に運用できると思う。
- ・ 現在の魚市場跡地の一部は潮彩市場のバックヤードになっている。当然不要な物もあるが、これを整理した上で収納する倉庫は従前通り確保していただきたい。
- ・ 漁協の防府さかなまつり、それから拠点祭と合わせたうまいものフェア、ハモフェス、こういったものを魚市場跡地で行っている。他にも民間イベントの事例もある。今後仮に魚市場跡地が整備されたとしても、イベントとして活用できるような施設を整備していただきたいし、卸売業者にもその辺を理解いただいて、一緒にやっていけるようお願いしたいと思う。それが本当のにぎわい創出だろうと思う。

3 その他

【会長】

- ・ 本日もいただいた意見も参考に、基本構想の骨組み等を作っていきたいと考えているので、事務局の方において十分検討していただきたいと思う。

【事務局】

- ・ 本日は、貴重な意見をいただき誠にありがとうございます。次回の会議では本日の意見を参考にしながら新たな方向性ということで資料を提出し、意見等をお聞きしたい。